



環境変化に対応した安定的な食料生産の実現に関する研究

生物資源科学部 教授 上野 誠

地球温暖化など、環境が大きく変化している中で、食料の安定供給は重要となります。食料の安定供給には、安定した農作物栽培が重要になりますが、それらの安定供給を妨げる要因として、病害虫の発生があります。また、病害虫を防除する農薬の過度な使用は、農薬が効かない耐性菌を出現させてしまいます。

私たちの研究室では、それらの問題を解決すべく、地域の未利用資源や微生物を用いた環境に配慮した病害防除に関する研究を進めています。特に、これまでは、病害防除に利用できる植物成分の解析や微生物農薬として利用可能な微生物の探索を行ってきました。また、学生や市民への病害防除の重要性を伝える講演等も実施しています。

今後、研究を発展させることにより、安定的な農作物生産のための技術の普及に努めていきます。

